

議会だより

2018.10.30

(平成30年)

発行：福島県西会津町議会

編集：議会広報特別委員会

にしあいづ No.143



- 9月定例会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～6
- 第4回臨時会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 新庁舎専用議場での議会始まる！・・・・・・・・・・ 8
- ここが聞きたい！ 一般質問 12人が登壇・・・・・・・・ 9～21
- 常任委員会事務調査報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 22～23
- この人にインタビュー・議会の動き・・・・・・・・・・ 24

力を合わせてヨイショ！（こゆりこども園運動会）

平成29年度決算を全会一致で認定！

役場新庁舎改修工事・国際芸術村改修工事・

温泉保養施設大規模改修工事・菌床栽培ハウス整備など

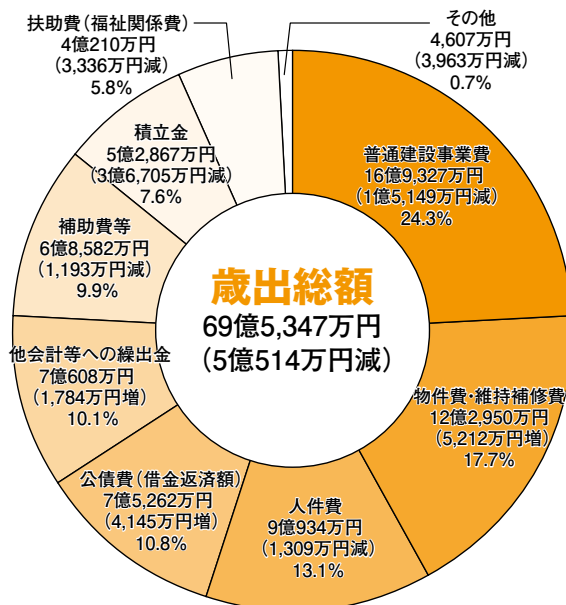
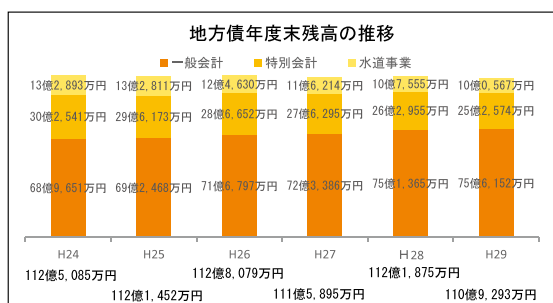
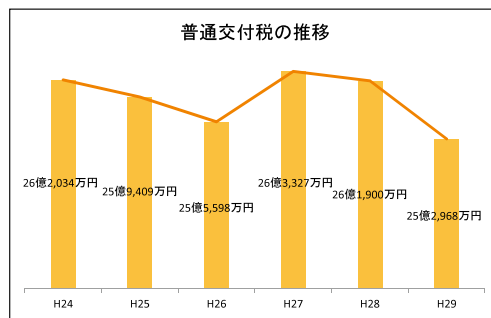
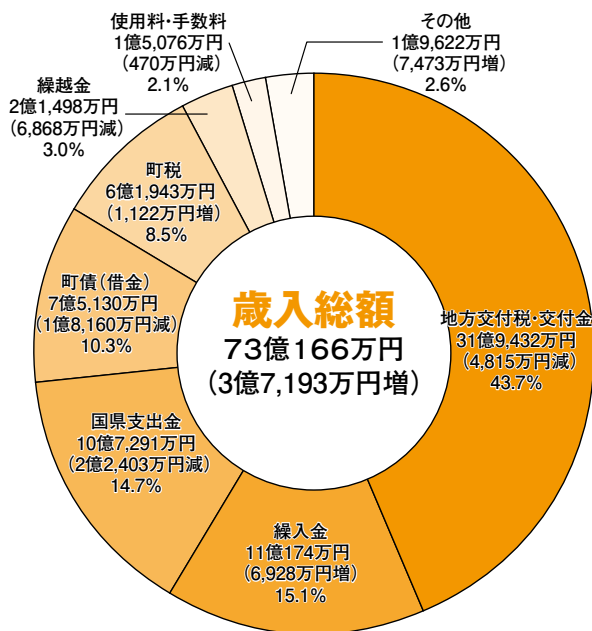
全会計の歳出総額は **101億2,995万円**

9 月
議 会
定例会
9/7～18

会 計 名			決 算 額		差し引き
			歳入（収入）	歳出（支出）	
一 般 会 計			73億166万円	69億5,347万円	3億4,819万円
特 別 会 計	工 業 団 地 造 成 事 業		6万円	0万円	6万円
	住 宅 団 地 造 成 事 業		2,338万円	1,048万円	1,290万円
	下 水 道 施 設 事 業		1億5,992万円	1億5,550万円	442万円
	農 業 集 落 排 水 処 理 事 業		1億1,623万円	1億1,285万円	338万円
	個 別 排 水 処 理 事 業		5,308万円	5,134万円	174万円
	後 期 高 齢 者 医 療		9,678万円	9,643万円	35万円
	国民健康保険	事 業 勘 定	10億6,378万円	10億5,716万円	662万円
		診 療 施 設 勘 定	3億7,739万円	3億5,024万円	2,715万円
	介 護 保 険		11億5,901万円	11億3,573万円	2,328万円
簡 易 水 道 等 事 業		7,019万円	6,620万円	399万円	
合 計			104億2,148万円	99億8,940万円	4億3,208万円
本 町 財 産 区 特 別 会 計			36万円	12万円	24万円

企 業 会 計 名			決 算 額		差し引き
			総収益	総費用	
水道事業（収益的収支）			1億4,397万円	1億4,043万円	354万円
全 会 計 の 総 額			105億6,581万円	101億2,995万円	4億3,586万円

<< 一般会計決算の状況 >>



町から提出された議案は、平成29年度決算の認定や条例の一部改正、平成30年度補正予算、人事案件、工事請負契約の締結など29件で、全ての議案を原案のとおり可決・同意しました。一般質問では12人が登壇し、町の考えや対応を問いました。

平成29年度の重点事業



役場新庁舎改修工事
4億8,462万円



西会津国際芸術村 5,035万円
スプリングクーラー設置・飲食施設改修等



菌床ハウス整備（4棟） 2,829万円

決算総括質疑

三留正義議員

本町の経常収支比率は、89・5パーセント。警戒ラインは90パーセントであり、ほぼ警戒ラインに等しい。また、財政指数も大きくなりつつあるが町の分析と今後へ向けた考え方は。

総務課長

経常収支比率が昨年度より、5・8ポイント上昇した。まず一番大きな主な要因は、分母にある普通交付税が大きく減額したことで、分子にある下水道施設事業特別会計と農業集落排水処理事業特別会計への繰出基準が変更になり、8200万円ほど多くなったことなどである。

込み等が必要であると考えている。

県平均の経常収支比率からは1ポイントほど低いところである。

公債比率なども伸びているがどのようにとらえているのか。

総務課長

前年度より平成29年度は0・6ポイント上昇し6・2パーセントとなった。その大きな要因は、近年大規模事業が多かったことが挙げられるが、大きなハード整備事業は落ち着いたと考えている。今後、起債（借入）は抑制していきたい。しかし、必要な事業は起債枠を設けて行っていく。

三留満議員

財政調整基金の規模は妥当な金額なのか。

総務課長

標準財政規模の10パー

セント程度といわれているが、本町では26・9パーセントの9億3711万円となっている。普通交付税の減額などが考えられる中で、真に必要な事業や緊急性が高い事業などは取り崩しても取り組む考えである。

清野佐一議員

起債（借入）の総額と町の実質負担額は。

総務課長

平成29年度の起債の残高は一般会計で、75億6152万円で、特別会計を含めると110億9293万円となり、町の実質負担は37・4パーセントの41億4875万円である。交付税で措置される額は69億4417万円で62・6パーセントとなっており、おおむね6割が交付税措置され、町の実質負担が4割程といえる。

定時定路線バスとデマンドバスの並行運行決定



条例の改正

■西会津町民バス運行条例の一部を改正する条例
例

デマンドバスの運行便の一部を定時定路線バスとし、極入徳沢線・高目線・黒沢線の3路線を並行運行するための改正。

主な質疑

多賀剛議員

デマンドバスと定時定路線併用運行で利用者は増加するのか。

町民税務課長

電話予約が不要であり、利便性があるので利用者の増加が見込まれる。

定時定路線バスとデマンドバスを枝線で接続（乗り継ぎ）できないか。

町民税務課長

検討したが待合時間の問題など、不都合な部分もあり原案に至った次第である。

伊藤一男議員

運行までにバスの購入と納期は間に合うのか。

町民税務課長

当初予算でバス2台の購入費を計上しており、うちワゴン車については納車済みである。もう1台の29人乗りのバスは11月納車予定であるが、予備車があるのでそれで対応する。

渡部憲議員

赤字でも運行するのか。

町民税務課長

当初予算でバス2台の購入費を計上しており、公共交通は住民の足・生活の足として運行しなければならぬ。

秦貞継議員

見直しや検証はどのように取り組むのか。

町民税務課長

毎年2月ごろに、バスの検討会議を行って検証をしているところである。



「加熱式たばこ」も増税へ

■西会津町税条例の一部を改正する条例（たばこ税関係）

主な質疑

猪俣常三議員

この条例変更でどのような影響があるのか。

町民税務課長

喫煙者が減少傾向にある、たばこ税は減少するとみている。

多賀剛議員

たばこ税改正に関連して、喫煙と健康についてどのようにとらえているのか。

健康増進課長

本町の若い方の喫煙率は、全国の喫煙率からやや高い傾向にある。

健康増進法の観点から禁煙推進、また、禁煙対策に取り組む必要がある。

■西会津町手数料徴収条例の一部を改正する条例
行財政改革部会により、他市町村と整合性の取れていない住宅用家屋証明の審査手数料を1300円とする。字限図面の謄写が地番単位で発行できるようになり、A3判1枚200円、A1判1枚500円とする。

その他、学校林に係る、西会津町教育基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止。関連して、財産の無償譲渡（山林）の議案を可決した。

補正予算

一般会計補正

2億7303万

2千円を増額

歳入の主な内容は、決算確定による繰越金の追加普通交付税の決定による額の追加。

主な歳出は、若者向け住宅整備に伴う旧野沢保育所解体工事費、町民バス定時定路線バス運行に係る委託料、大雪による林道・町道・河川の修繕料、学習用タブレットパソコン購入費等を計上。

このほか7特別会計、水道事業会計補正予算を含め、全て原案のとおり可決。

主な質疑

多賀剛議員

庁舎整備は今回の車庫整備で終了となるのか、また基金残高は。

総務課長

残された事業は駐輪場整備（当初予算に計上）のみで、最終的な残高は700～800万円程度になる見込みである。

長谷川義雄議員

温泉源泉揚湯機械交換工事の内容は、またこれにより休業はないのか。

商工観光課長

揚湯ポンプの部品が販売終了となったための交換で、閑散期の11月下旬に5日ほど休業することになる。

旧野沢保育所解体工事【新規事業】

若者向け住宅整備に伴う旧野沢保育所の解体に係る実施設計委託料300万円、解体工事費3000万円を計上。

渡部憲議員

周辺住民への説明会の開催日と参集範囲は。また入札方法は。

企画情報課長

4町内を中心に速やかに説明会を開催し、了解を得たい。

入札については、指名競争入札になる予定である。

三留正義議員

議決後の住民説明会で、住民の意向によって変更はできるのか。

企画情報課長

今回の事業は、若者向け住宅整備を前提にした旧野沢保育所解体工事であることから、周辺住民に十分な説明をしていきたい。

三留満議員

主に単身者用住宅を予定しているようだが、子育て世帯も検討すべきでないか。

財源が過疎対策事業債で対応とあるが理由は。

企画情報課長

アンケート調査で単身者の住宅が非常に不足しており、緊急整備事業として実施したい。

補助事業では制限等があるので起債で対応する。

町長

子育て世代向定住住宅の必要性も十分認識している。町の中心である野沢地区の活性化のために遊休施設や旧役場周辺の活用も検討を進める。



跡地は若者向け住宅へ

学習用タブレット・パソコン導入【新規事業】

2年後に小学校で必修となるプログラミング教育及び家庭学習の充実による学力向上に向けた学習用タブレット・パソコンの購入費285万円及び情報教育支援委託料180万円を計上。

多賀剛議員

小学校4年生全員にタブレットを支給するとあるが、どのようなメリットがあるのか。ランドセルがさらに重くなるが対応は。

教育長

家庭学習の充実を図りたい。個に応じた学習ができるメリットがある。

ランドセルについては、半数が徒歩通学なので、今後学校と協議をしたい。

委員継議員

タブレット破損、故障時の対応はどうなるのか。また、ソフトの使い勝手は検証されているのか。

学校教育課長

本体機器保護のため、ハードケースや保護フィルムで対処するほか、故



タブレットを使用した授業
(戸田市立第二小学校)

障時は予備機で対応する。

ドリルソフトは埼玉県

戸田市で2年間使われ、全国でも実績のあるソフトである。

先生方への支援体制は。

学校教育課長

教職員の導入初期の支援のために、IT企業の講師派遣の予算を取っている。

請負契約の締結

通信機器高度化更新工事請負契約の締結について可決。

■事業内容

インターネット通信設備及び加入者側通信端末のサポート終了に伴う機器の更新事業で、平成30年度から2力年で実施。

■落札業者・金額

条件付き一般競争入札により、株式会社協和エクスオが8316万円で落札した。

主な質疑

三留満議員

新しい機器によってレベルアップは。

企画情報課長

これまでの機器の10倍の通信速度が可能だが、上位回線の更新が行われないと速くならないので早期のサービス向上に向けて検討中である。

特別功労表彰者

決定の同意

町政の向上発展に功績のあった2名の方を特別功労者として表彰することに同意。

■薄上 幸一さん

(3町内)

町選挙管理委員会委員(16年内委員長12年)として公正・適正な選挙執

行に尽力。

■長谷川 恵一さん

(牛尾)

消防団員(36年内第2分団長2年)として消防団活動に尽力。

監査委員

選任の同意

■佐藤 泰さん

(上野尻・再任)

教育委員会委員

任命の同意

■長谷川 正さん

(さゆりが丘・再任)

陳情の審査

■学校給食費の無料化を求める陳情

■県に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」提出についての陳情

■国に対し「学校給食費の無料化を求める意見書」提出についての陳情

【提出者(3件)】

新日本婦人の会福島県本部西会津班
代表 渡部 京子

【結果】 継続審査

主な質疑

三留満議員

継続審査となった理由は。

総務常任委員長

全国の自治体で、無料・一部無料・補助等を実施しているのは約3割で、約7割は実施していない。

準要保護者(経済的就学困難者)には、給食費や学用品、修学旅行費等の支給が実施されており、給食費の未納もない。

また、保護者・先生方から要望も上がっており、財政負担の問題もあることから、今後の県・県の動向を注視していく。

第4回議会臨時会

補正予算と工事請負契約締結を可決

8月24日に議会臨時会が招集されました。町から一般会計補正予算（第2次）及び工事請負契約締結の2件の議案が提出され、両議案とも原案のとおり可決しました。

補正予算

県内の景勝地を会場に開催するウォーキングイベントとして、大山祇神社まで歩く「第30回ふくしま緑の百景歩こう会」を開催することから、必要な経費を計上したもので、補正額は1億85万円、予算総額は61億4083万2000円となった。



本年5月に行われた大山ウォークの様子



最終通過地点となる大山祇神社御本社

工事請負契約の締結

さゆり公園野球場スコアボードの改修工事で、老朽化しているスコアボードを改修する。請負額は5967万円、請負者は、武田土建工業株式会社決定した。

主な質疑

伊藤一男議員
今あるバックスクリーンの塗装も事業に入っているのか。
建設水道課長
今回の工事で綺麗にする。

多賀剛議員
ボールが飛んで来た場合、問題はないのか。
商工観光課長
ボールが当たっても基盤には問題ない。

金額の中でスコアボード本体が占める割合は。
建設水道課長
約50パーセントである。

渡部憲議員
年間の維持管理費は。
商工観光課長
消費電力は3時間で270円程度である。それ以外の維持費は今後協議して決定する。

秦貞継議員
この高さで見やすさの問題はないか。
商工観光課長
下郷町にも同じようなスコアボードがあり、可視距離からも問題ないと判断した。

猪俣常三議員
今のバックスクリーンが活用できないと野球場にふさわしくなくなる。既存の物が使える可能性のある素案が作れなかったのか。

町長
若松や郡山のような大きなスコアボードにすれば費用が何億とかかる。改修も含め、どのようなものかいいか充分検討した。今の活用状況を考えれば、大きなお金をかけてやる必要はないと考える。



スコアボード完成予想図（写真右端が完成予定のスコアボード）

新庁舎専用議場での議会始まる！

役場新庁舎の完成により、専用の議場が設置されました。気持ちを新たに、さらに開かれた議会、町民の負託に応えることができる議会を目指します。町民の皆さんもぜひ傍聴にお越しください。



このたびの新庁舎移転により、議場を持てたことは大きな喜びです。昭和の合併以来64年の間、何度となく専用議場の要望が上がっては消えを繰り返してきました。

議会にとって、議場は神聖な場でもあります。議論や質の向上を図り、町民の皆さんの負託に応えるべく、身を引き締めてより一層、町政の発展と福祉の向上に努める覚悟です。

西会津町議会議長 武藤 道廣

町民と議会との懇談会（第11回議会報告会）を開催します！

議会では、町民の声を反映した健全な議会運営を維持するためにも、町民の皆さんのより積極的な議会への参画を必要としています。11月に町民と議会との懇談会を開催しますので、ぜひ、皆さんの声をお聞かせいただき、一緒に意見交換させてください。

主 な 報 告 9月議会定例会（平成29年度決算など）・第10回報告会～その後
懇談テーマ 「雪対策について」

開催日	時 間	開催場所
11月7日（水）	午後6時30分	林業研修センター、保健センター、新郷連絡所
11月8日（木）	午後6時30分	町公民館（日本間）、奥川みらい交流館

町政を問う

ここが聞きたい 12名が登壇



質問順序

- ・三留 満 議員
- ・秦 貞 議員
- ・薄 幸一 議員
- ・三留正義 議員
- ・猪俣常三 議員
- ・小柴 敬 議員
- ・伊藤一男 議員
- ・長谷川義雄 議員
- ・多賀 剛 議員
- ・荒海清隆 議員
- ・青木照夫 議員
- ・清野佐一 議員

一般質問は9月10日から12日までの3日間で行い、議員12名が登壇して、町政の課題などを問いました。

一般質問とは

一般質問とは、議員が町の事務の執行状況や将来の方向性について報告や説明を求め、町民のための適切な行政運営が進められているかをチェックするものです。

事前の通告に基づき質問

質問者は、議長の許可を得て事前に執行者に通告した内容に沿って質問することができます。

1時間以内なら何度も質問可能

論点及び争点を明確にし、議論が深まるよう一問一答方式を採用しており、答弁を含めて1時間の時間内であれば何回でも質問することができます。

- 伊藤一男議員（10ページ）
 - ①若者向け住宅整備について
 - ②西会津応援大使について
 - ③除雪等に係る道路整備について
- 小柴敬議員（11ページ）
 - ①集落機能維持のための仕組みづくりについて
 - ②町民の健康管理について
- 多賀剛議員（12ページ）
 - ①移住・定住・二地域居住について
 - ②ボランティア教育について
 - ③浜・中・会津の交流について
- 長谷川義雄議員（13ページ）
 - ①災害対策について
 - ②町民の安全対策について
 - ③遊休施設について
- 薄幸一議員（14ページ）
 - ①生活環境整備について
- 猪俣常三議員（15ページ）
 - ①渇水対策について
 - ②学校プールについて
- 三留正義議員（16ページ）
 - ①農業政策について
- 三留満議員（17ページ）
 - ①ふるさと納税の現状と課題について
- 清野佐一議員（18ページ）
 - ①農業政策について
 - ②有害鳥獣被害対策について
 - ③町民の健康管理について
- 秦貞継議員（19ページ）
 - ①西会津町の消防組織について
 - ②西会津高校活性化について
- 青木照夫議員（20ページ）
 - ①遊休施設の対策について
 - ②ふるさと納税の取り組みについて
- 荒海清隆議員（21ページ）
 - ①観光資源を生かした持続可能な町づくりについて

※掲載ページは抽選による。
※掲載記事は2項目まで。

問 旧野沢保育所跡地とした理由は

答 利便性など総合的に検討した



議員
伊藤 一男

今回、町では懸案であった若者向け住宅について、旧野沢保育所を解体し、跡地を利用して住宅整備をする計画であるが、町の考えは。

問 現時点での整備事業の内容は。

町長

本年1月から2月にかけて実施した若者向け住宅整備に関する企業アンケート調査、及び町内民間アパート実態調査の結果を参考に検討を進めてきた。

現時点で想定している事業内容は、入居対象と間取りについては単身者あるいは夫婦など2人世帯向けの1LDKタイプで20戸程度の集合賃貸住宅を想定している。

問 旧野沢保育所跡地を適地と判断した理由は。

企画情報課長

住宅の建設候補地については、「賃貸住宅の候補地はどの地区が適当か」とのアンケート調査において、79名のうち54名が野沢地区、15名が尾野本地区と回答し、他の地区はなかった。

具体的な場所については、利便性や地域活性化への寄与、コストの削減と遊休財産の活用観点から総合的に検討した結果、旧野沢保育所跡地と判断した。

道路整備

問 今年度の県道の消雪施設整備は

答 早期実現のため要望を継続する

問 現在、新しい役場に通じる旧役場側からの進入路は改良され広くなり

通行しやすいが、町内からの進入路はいずれも狭く車がすれ違いできない状況である。道路の改良をすべきと思うが町の考えは。

建設水道課長

当該道路の改良については、いずれも住宅密集地にあり、道路幅に伴い多くの建物の移転や減築が必要となることから現時点においては非常に難しいと考えている。

問 上野尻や新郷地区の残りの部分の今年度の消雪パイプの敷設計画は。

建設水道課長

上野尻地区は本年度、路線上にある2つの既設井戸から消雪パイプまで水を送るための工事の計画を実施することとして

いる。

今後も県に対し、新郷地区も含め要望活動を実施していく。



消雪施設の整備が待たれる（上野尻地区）



議員
小柴 敬

健康管理

問 町民の健康管理は

答 血圧測定で健康管理

問 在宅健康管理システム終了の理由は。

町長

システム老朽化が要因であるが、自己の血圧管理による健康管理の徹底を今後推進していく。

問 血圧計購入推進と血圧計による健康管理は。

健康増進課長

健診結果により血圧管理が必要な方や、家庭血圧計を所有していない世帯を中心に普及拡大を図る。

問 利用者に対する今後の支援方法は。

町長

要支援の方々については、保健師が個別に対応するなど、特段の配慮を検討する。

今後はサロン活動や集落に向いての健康相談など、町民の健康管理を推進していく。

若い世代の血圧管理推進のため、町内企業や事業所等と連携した健康づくりにも取り組んでいく。

集落機能維持

問 集落支援の仕組みづくりは

答 本格的な仕組みづくりを検討



ボランティア支援を受けながら集落支援

問 集落機能維持のための、大学生を呼び込んだ「人足」の仕組みづくりは。

町長

人口減少や高齢化のため、これまで集落が自ら実施してきた農道や水路の維持管理など、集落機能の維持である「人足」が困難になってきた。担当した地域おこし協力隊員も手ごたえを感じ

ており、本格的な仕組みづくりに向け、集落支援員や地域おこし協力隊を中心に検討していく。

問 ボランティアに参加した学生等の無料宿泊所の検討は。

町長

奥川中町地区の空き家を一棟借り上げ、集落支援に訪れる大学生などの町外者宿泊施設として活用していく。

問 奥川地区以外における集落支援員増員の考えは。

町長

聞き取り調査の結果、現在のところ支援の要請までに至っていない。状況の変化を見極め、増員を検討していく。

移住・定住

問 移住に向けた取組みは**答** 各種施策を総合的に進める議員
多賀 剛

急激な少子高齢化、過疎化が進む本町にとって、他地域からの移住・定住・二地域居住の推進は最重要課題の一つである。そのための各種施策を実施しているが、その効果・成果はどうなっているか。

問 現在までの移住実績は、どうなっているか。各施策の効果をどう捉えているか。

商工観光課長

移住の実績については、移住相談が8月まで125件で、そのうち14組22人の方が移住した。これらの実績は、総合的に施策を展開してきた結果であると考ええる。

問 地域おこし協力隊任期満了後の定住に向けた対策は考えているか。

また、任期満了後も何らかのサポートが必要と考えが見解は。

商工観光課長

地域おこし協力隊が任期後に定住するかどうかは、本人の意思に委ねられているところであるが、定住起業支援補助金のほか、創業支援セミナーや各種移住施策の活用を紹介するなど、定住に向けた支援を行っていく。

交流拡大

問 交流市町村とは今後どうする**答** 交流協定締結に向け作業を進める

問 本町議会は数年前から広野町（浜）・平田村（中）の両町村と交流を行っている。本町は冬の雪国まつり、平田村は春の芝桜まつり、広野町においては夏のサマーフェスティバルと、それぞれのイベントに参加し交流・親睦を深めているところである。

町長

他の地域との交流は、経済的、社会的、文化的な面で大きな効果が期待できるものであり、地域力を高めるためには大変有意義なものと考えている。

現在、交流町村長とは交流協定締結に向けた準備作業を進めているところであり年度内締結を目指す。今後、交流をさらに拡大、発展させていくには、町民や各種団体の参加は不可欠である。住民参加のあり方を十分考慮しながら進めていく。

今後の交流を進める上で、議会のみならず住民や各団体等の交流まで広がれば、それぞれの町村のPRや交流人口増などの相乗効果が見込まれる。また友好・交流だけでなく協定締結等も検討すべきとの声もあるようだが見解は。

地域交流に大きな期待
（平田村芝桜まつり）



議員
長谷川義雄

災害対策

問 災害ごみの処理は

答 今後検討する

問 自治体が災害ごみの

処理計画書を策定しなかったことにより、仮置き場の選定など、ごみ処理を巡り初動が遅れた事例があったが、災害ごみに関する計画は策定されているか。

町民税務課長

国では、都道府県や市町村などの自治体へ「災害廃棄物処理計画」の指針を示し、策定を促している。

町としても災害廃棄物処理計画策定の必要性は感じており、昨年度作成した土砂災害ハザードマップで想定される被害区域の状況や避難所などを考慮しながら、策定について検討する。

問 利活用はどのようにするか

答 検討作業を進める

遊休施設

問 旧野沢保育所以外の遊休施設については、管理・利活用・解体も含めてどのように考えているのか。

企画情報課長

平成29年3月に策定した「町公共施設等総合管理計画」のもと、「保育所施設の利活用方針」や「廃校施設等利活用計画書」に基づき、利活用に関する検討作業を進めている。

群岡保育所については、土地と施設の一部を借り受けしているが、協議により、次年度以降解体する方針である。新郷保育所については、当面は従来どおりの活用を考えている。奥川保育所については、平成28年度から県内外の小学生を対象とした宿泊型自然体験プログラムの活動拠点として、町外のNPO法人に貸し付けを行っており、当面は同団体における利用が見込まれる。



早期に利活用の検討を（写真は旧尾野本保育所）

その他の芝草保育所と尾野本保育所は、現時点で具体的な方針は決まっておらず、「保育所施設の利活用方針」に基づき検討を進める。

小学校施設については、現在利活用されている小学校以外の尾野本小

校・群岡小学校・新郷小学校・黒沢小学校の4施設については、引き続き廃校等利活用計画に基づき、跡地利用も含めて、今後の利活用、または解体撤去などの処分を検討する。

問 将来に向けた道路改良について

答 早期事業化を強く要望する



議員
薄 幸一

問 定時定路線バス高目線運行に当たり、狭い箇所の道路改良について、どのように考えているか。

建設水道課長

新村・平明間など、一部の幅員が狭く、急カーブもあり、早期に改良工事を行う必要がある優先度の高い路線であると認識している。

問 県道338号線は新郷小清水から陣ヶ峰を通り喜多方市に通じるが、道路が拡張整備されれば、人の行き来が盛んになり地域の活性化につながると思うが、町は県に対してどのような要望をしているか。

建設水道課長

陣ヶ峰の歴史的な背景や地域のイベントでの活用状況も踏まえ、地域活性化を視野に入れながら、県に対して要望すべき課題であると考えている。県道上郷・下野尻線の改良について、県道を管理する県喜多方建設事務所に対し、さまざまな機会を捉え、早期に事業化を強く要望する。

問 道路整備について、県への要望活動は行っているか。

建設水道課長

県へ要望する地域課題検討会の中で町民から上がってきたものを、町で取りまとめ、重要性を確認して強く事業化に向けて要望していく。用地確保、共有地の問題などは、町としても県に情報提供している。

問 次期西会津町総合計画策定のためのアンケート調査結果報告書の中で、「住みよくないと思う理由は何ですか」の問いに、全体では「降雪量が多い」が56・1パーセントであり、地区別で見ると新郷地区では「日常生活が不便である」奥川地区では「交通が不便である」との回答であった。

人口減少対策を考えるならば、生活が快適になるような、道路の整備が必要と考える。生活道路の環境整備を積極的に進めていく考えはあるか。

町長

新郷連絡所付近から新郷小清水までの道路を最初に整備すべきであり、定時定路線バスが走ることから、交通の便を良くすることが第一である。

また、縦貫道路の樟山バイパスにおいて、一部区間を通行できるよう舗装工事が始まる。奥川地区にとっても、新郷地区にとっても道路整備が基本であり、喜多方建設事務所に対し早急に要望していく。



対向車とのすれ違いができない（平明～小清水間）



議員
猪俣常三

渇水対策

問 渇水対策は

答 ポンプ、燃料助成等に対応

問 渇水による被害調査及び渇水対策に係る補助事業の状況は。

農林振興課長

農作物等に対する被害調査については、7月の下旬に実施した。

自治区等への聞き取り調査や農地・ため池の現況調査をもとに渇水対策本部の設置後は、かんがい用水の水量調査、水稲及び野菜等の被害調査を実施した。

また、8月中旬以降、

県喜多方農業普及所やJA会津よつばと連携して行った水稲被害調査は、

町内全ての水田を対象に第1回目の現地調査を8月16日から3日間実施し、田面のヒビ割れや出穂の遅れなど、影響が見られる農地の位置の特定を行った。

その後、特定した農地のうち、収穫量の減少など、被害が予想される面積を確定するため、2回目の現地調査を8月30日から2日間実施した。

調査の結果、水稲につ

いて、3・76ヘクタール、野菜について0・9ヘクタールの被害面積を確認した。

この干ばつ対策に新たに設けた揚水ポンプの購入費等に対する助成は、ポンプの購入費及びリース料については、支払額の30パーセント以内とし、燃料費やホース購入は50パーセント以内、それぞれ上限5万円以内として、最大10万円まで助成する。

問 西会津小学校プール建設の進捗状況は。

建設水道課長

西会津小学校プールの建設の進捗状況は、校舎北側の体験農場に25メートルで5コースのメイン

問 建設の進捗状況は

答 工事の入札公告中である

小学校プール

プールとサブプール・更衣室などを建設する予定である。

条件付き一般競争入札で進めており、現在公告中である。

問 猛暑による学校プールの使用を中止することを、どう思うか。

学校教育課長

学校プールにおいて、水温の上昇やプールサイドでの高温から熱中症を防ぐため、全国各地の学

校では夏休み期間中、学校プールを中止する異例の事態となった。

特にプール学習については、プールに水温が30度程度、プールサイドの気温が35度以上の場合は、原則水泳を禁止することとし、小・中学校へ通知した。

今後も、猛暑により一定の基準を超えた場合は、学校プールの使用を中止することもあると考えている。



校舎裏のプール建設予定地

問 見直し時に広く意向調査をするのか

答 広くアンケートを実施検討



議員
三留正義

問 西会津農業地域整備計画が平成27年度に見直しされたが、今後の見直しに向けた考え方は。

農林振興課長

国のガイドラインによれば、本計画は概ね10年間を見通して策定するものであり、今後の見直しについても、ガイドラインに基づいて平成37年度がその時期と考えている。

問 西会津農業地域整備計画の中で雪室施設整備がうたわれているが、今後の活用の考え方は。

町長

雪室貯蔵施設は現状でもっと活用方法について検討していきたい。

問 次回、この計画変更に際しては、現在農業に携わっていない方などにも分かりやすく、広くアンケート調査実施していただきたい。

農林振興課長

前回の計画変更の際に、アンケートを実施したのは中核農家・認定農家、その他の方は抽出で実施した。

次回は、広く分かりやすいアンケート調査の取り組みを検討する。

農業支援

問 農業公社立ち上げの考えは

答 現段階では結論に至っていない

問 農地中間管理機構の取り組みや、多面的な農業支援（農業ヘルパーなど）を求める声が多く

なってきたが、本町では農業公社のような組織を立ち上げる考えはあるか。

町長

最近、会津管内の自治体とJA会津よつばが共同で農業公社を設立した事例がある。これは、稲作を経営主体とし、後継者不足の解消により将来にわたり地域農業を守るための公社組織であると聞いている。

私としては、将来的にはこのような法人組織が地域農業の中核を担っていく姿が望ましいと考えている。それが農業公社

であるべきかという判断には至っていない。

農業ヘルパーについては、当面シルバー人材センターを有効活用していく。



農用水路の維持など集落の今後は
(提供：原町導水路管理自治会)



議員
三留 満

ふるさと納税

問 成果を上げるためには

答 魅力ある返礼品を提供

問 6月からふるさと
チョイスに掲載が始まっ
たが現状の実績について
どう判断しているか。

町民税務課長

8月末現在の実績は、
88件79万円であり、前年
同時期に比べ70件23万5
000円の増となっている。
このうち81件がふる
さとチョイスからの寄附
となっていることから、
インターネットによる寄
附が主流になると思われ
る。

金額的には、まだまだ
十分でなく、さらなる取
り組みが必要と認識して
いる。

問 今後、成果を上げて
いくための問題点や課題
は何か。また、実効性の
ある取り組みの検討はし
ているのか。

町民税務課長

寄附者にとって魅力的
な返礼品が重要と考えて
おり、庁内関係各課と連
携して取り組みを検討し
ていく。

今後は、返礼品の主力
商品としている米の新米
キャンペーンを実施する。
周知方法として、イン
ターネット上にWEB広
告を張り、パンフレット
も合わせて作成し、過去
に寄附を頂いた方に送付
する予定でいる。

問 食味計を、ふるさと
納税返礼品の米に活用で
きないか。

農林振興課長

ふるさと納税の返礼品
として出荷される米がす
べて高品質とは限らない
ため、返礼品に食味値が
高いことを表示し差別化
を図ることは難しい。

問 阿賀町の農業生産法
人は、雪室貯蔵施設を
使って付加価値をつけて
成果を上げている。

本町にも雪室貯蔵施設
があるが、これを有効活
用して、米を魅力ある返
礼品とすることはできな
いか。

農林振興課長

阿賀町の法人と本町の
雪室貯蔵施設は規模や中
身に違いがあり、すぐ
にはできないが、町内生
産者が玄米で雪室での貯
蔵試験を行っているので
成果が上がれば検討して
いきたい。



【平成30年産・新米】西会津げんき米 5kg精
米【発送期間 平成30年10月～平成31年8月】

福島県 西会津町(ふくしまけん にしあいづまち)

10,000 円以上の寄附でもらえる

常温

容量: 5kg

在庫: あり

発送期日:平成30年10月～平成31年8月

数量: 1

♡ お気に入り

🛒 寄附するリストに追加

魅力ある返礼品が求められる

渇水対策

問 渇水による課題解決を

答 さらに点検強化に努める



議員
清野佐一

問 今年の夏は、かつてない猛暑日の連続と小雨の日々であった。

町では、8月1日に「西会津町渇水対策本部」を立ち上げて対応してきたが、被害の状況は、

農林振興課長

農業用水の不足と農作物等への被害状況については、自治区長などへの聞き取り調査や県喜多方農業普及所、JA会津よつばと連携した現地調査を行った。

町全体としては3・76ヘクタールの被害があり、作付総面積637ヘクタールに対して0・59パーセントであった。地区別では群馬地区が2・06ヘクタールと一番多かった。

問 今後、気温も上昇傾向となり40度を超える日が多くなるという。

このたびの渇水から学び、課題があれば解決をして後世に引き継ぐべきと思うが考えは、

農林振興課長

農業用水路、及びため池などの老朽化や土砂の堆積により用水の供給量の低下などが確認された。これまで、農業施設の管理・点検については土地改良区と連携しながら進めてきた。

各地区の水利組合や自治区長などにおいても、多面的機能支払交付金などを活用して維持補修や改良などを行ってきた。今後もさらなる点検強化に努め、農業施設の機能回復と長寿命化に取り組んでいく。

町民の健康

問 健康づくりの考え方は

答 健康寿命の延伸が重要である

問 西会津町が全国的にその名を知らしめたのは、

当時、山口町政が町民の健康づくりを追い求め、「百歳への挑戦」をス

ローガンに取り組んだトータルケアの町づくりであった。

数多くの施設一つ一つが、町民の健康づくりに着目した政策であった。薄町長の町民の健康管理についての基本的な考えは、

町長

本町では「百歳に挑戦」、トータルケアの町づくりの推進の結果、大きな成果を上げてきた。町民の皆さんが生涯にわたり、健康上の問題で日常生活を制限されることなく生活できる期間、健

康寿命を延ばすことが大切であると考えている。

町では、介護予防事業の充実・強化、受診しやすい健診体制の整備などに取り組んできた。

さらに、これまで実施が困難であった社会保険加入者への健康づくり事業についても、県や町内の事業所・企業等と連携して支援していく。



健康で長生きを



議員
秦 貞継

問 前回の質問後、消防団員の減少に対して、町はどのような対策を講じてきたか。

町民税務課長 平成26年5月から、消防団本部と各分団長で組織する「消防組織見直しに係る検討会議」を開催し、消防団員の確保や団員減少による組織の見直しなど、消防組織全般について協議を重ねてきた。

「消防団員定数の見直し」や「消防団員の報酬見直し」、また、来年度から復活する消防協会喜多方支部連合検閲の実施に伴う「町の春季消防検閲の見直し」などである。

問 団員確保が難しくなっている中、町は団員確保に向けた方策をどのように行ってきたか。

町民税務課長 各分団による地元勧誘を中心に取り組んでいる。町としても消防団の重要性を周知するとともに、さらなる処遇改善を図りながら、団員確保に向け

消防団と共に取り組む。

問 休日に行われる消防行事についても検討の必要があると思われるが町の考えは。

町民税務課長 時代の流れなどにより、行事の簡素化ができるものがあれば、消防団と協議しながら改善を図っていききたい。

問 女性消防隊の待遇に問題があると思うが町の考えは。

町民税務課長 女性消防隊の皆さんには大変感謝している。待遇に関しては広く協議させていきたい。

消防組織

問 団員確保の対策は

答 団員確保へ消防団と取り組む

問 今までの取り組みについて、反省点はあるか。

学校教育課長 西高の魅力を伝える情報の発信力不足が考えられる。また、今までは保護者の経済負担軽減が主

な内容で、入学者確保のために必要不可欠なものであるが、一方で生徒の希望を聞くなど新たな対策を講じていく必要があると考えている。

問 阿賀町で行っている「黎明学舎」のように、地域おこし協力隊に公営塾をお願いし、高校の魅力を発信してはどうか。

学校教育課長 有効な活性化対策の一つとして検討していきたい。

問 今後はどのように取り組むか

答 有識者と協議・連携し支援する



生徒と先生が一緒に取り組んだ魅力ある西高二文化祭
(提供：西会津高校)

西高活性化

問 ふるさと納税の取り組みは

答 目標達成に向け努力する



議員
青木照夫

ふるさと納税は、財源を確保する手段として、全国の自治体が知恵を出し取り組んでいる。

問 今までのネットでの「ふるさとチョイス」の活用効果は。

町民税務課長

8月現在の寄附件数は、88件、金額では79万円です。昨年度より23万5000円の増である。

問 返礼品の内容はどのようなプロセスで決定したのか。

町民税務課長

農林振興課、商工観光課、道の駅「よりっせ」を中心に、町内の事業者、団体、個人等と話し合い、返礼品は全て町内産の物で決定した。

問 町の設定額3000万円に現状では厳しい状況にあるが、目標額は達成できるのか。

町民税務課長

目標達成できるように努力する。

問 目標を達成するには、見直しをしながら町民税務課だけでなく、各課が真剣に取り組むべきだ。

町民税務課長

全庁を挙げて取り組む。

遊休施設対策

問 遊休施設対策は

答 地域活性化になる

問 町内にある旧野沢保育所を解体し、若者向けの住宅整備が計画されたが、計画内容を示せ。

町長

住宅の建設用地をアンケート調査した結果、野沢地区の希望があり、單身者、夫婦向けに1LDKタイプで20戸の集合賃貸住宅を計画した。

問 20戸の集合住宅を建設した場合、近隣の民家に、日照権等の問題が生じないか。

企画情報課長

調査して影響のないように進める。

問 調査費用を含めて、3300万円の解体費が予算化されているが、ほかに広々とした土地もある。

町長が政策に掲げた空き家等も利用すべきである。

町長

企画情報課長
除雪した雪を一部の場所に積み上げ、支障のないようにする。

若者は古い住宅より、新しい住宅を選ぶ、企業で働く人の住宅である。



日照権や除雪等が心配される

問 町内にある民間アパートを調査し、空き部屋は無いとの報告だが、民間アパートの経営者は、町職員からアンケート調査は受けていないと聞く。どのような調査をしたのか。

企画情報課長

電話での調査をした。



議員
荒海清隆

観光資源活用

問 観光資源を生かした町づくりを

答 手続きに時間がかかる

問 本町には大山祇神社、鳥追観音という古くからの神社、仏閣がある。さらなる誘客を図るには、雷山公園・緑地休養施設を整備することで観光地にして活性化ができるのではないかと。町の考えは、

商工観光課長

雷山公園と緑地休養施設を含む雷山生活環境保全林は、西会津インター付近からのビューポイントとして、また本町的主要観光地である鳥追観音・大山祇神社への玄関

口として、観光面でも重要なエリアと考えている。管理は、森林組合に切り払いなどを委託しているが、観光資源としての磨き上げまでには至っていないのが現状である。

町としては、当該エリアが保安林であること、観光資源としても重要なエリアであることを総合的に判断し、関係機関と連携しながら、再整備の可能性を調査・検討する。

問 飯豊山・鏡山は秀峰として知られ、リピーターも多くいる山である。避難小屋や登山道・キャンプ場を整備し、観光資源の掘り起こしをする考えはあるか。

昨年12月議会においても同様の質問をしたが、国立公園内であること、国有林内であるため課題が多く十分な検討が必要であるとのことだが、その後、進展はあったのか。

商工観光課長

祓川山荘の移転整備については、当該地域は、磐梯朝日国立公園内で、国有林内でもあり、自然公園法による制約をはじめ、県自然環境整備計画の変更手続き、森林管理署との原状回復、新設等

の協議をしなければならず、具体的な事業計画や設計図書も必要となるほか、多額の財政負担が伴う。

このようなことから、祓川山荘の移転新築等は大変厳しい現状のため、当面は祓川山荘の修繕などの環境整備を進めていく考えである。

問 国立公園内で、人工的な構造物も造っている所があり、できないばかりではないと思うが、方法はありますか。

副町長

国立公園であることから、県の判断で簡単にできない。手続きに時間がかかり、書類を提出しても認められるか分からない。

い。登山者も減少している中、誰がどのような形で管理していくのか、どれだけの利用者が見込めるか、財政の負担も総合的に考えて、何ができるのか、自治区や関係団体の皆さんと検討していく。



緑地休養施設の活用を（西平地内）

総務常任委員会は、所管する事務・事業のうち、幼児教育及びふるさと納税の取り組み、喜多地方広域市町村圏組合事業について、現状を把握するとともに課題と対応策等を検討するため、次のとおり調査及び視察を行った。

幼児教育

他市町村の幼児教育の取り組みを調査するため、喜多方市にある「さくらっこ保育園」を視察した。

さくらっこ保育園では



子どもたちの成長の土台となる「人間としての根っこ」を育てるため、子どもたちの自主性を伸ばしながら、日々の保育活動に精力的に取り組んでいた。

本町も、こども園をさらに良くするために、保育内容の検討が必要であり、町全体で強くたくましい子どもを育てていくことが望まれる。

ふるさと納税

ふるさと納税については、近年県内一の納税額を誇っている湯川村を調査した。

湯川村では平成26年度に返礼品の見直しを行い、3万円以上の寄附者に米60キログラムを返礼品としたところ、ふるさとチョイスのお得ランキング1位となった。これがマスコミに取り上げられ大きなPR効果があった

と思われる。

本町の今後の取り組みについては、本町をいかにPRするか、また、マスコミに、いかに取り上げてもらえるかが重要であり、米に自信を持って取り組むべきと考える。

喜多地方広域市町村圏組合事業

喜多地方広域市町村圏組合における事業を調査した。

①斎場

供用開始から45年が経過し、老朽化により維持



補修が難しくなっていたことから新たに整備し、

平成30年1月に一部が供用開始された。

新斎場は、炬ごとに別れの部屋があるなど、利用者の利便性の向上が図られている。

また、排気については無煙であり、環境にやさしく地域住民に配慮された施設となっている。

②組合庁舎・消防庁舎

完成から45年が過ぎ、老朽化と近代的消防署に求められるさまざまな機能等の整備が厳しい現状であったため、早急に新



しい消防庁舎の建設が望まれていた。

本年、喜多方市関柴町に建設地が決まり、具体的な建設に向かうことになったが、実際の運用面でも良いものになることを期待する。

また、実働職員数が100名を割っている現状においては、消防職員の定数についても増員を含め検討していく時期であると強く感じた。

③環境センター山都工場（可燃ごみ処理施設）

稼働から27年が経過し、各所に老朽化が見受けられる。今後、施設を更新する場合は、本町にも多くの負担が予想されることから、今以上の修繕計画や、更新に向けた方針を立てる必要がある。

また、ごみの減量化に向け、今以上に啓蒙活動に力を入れるべきである。

④環境センター羽山最終処分場

ゴミの埋め立て処分をする羽山最終処分場は、喜多方市慶徳町にあり、埋め立て容積8万8300立方メートルと広大ではあるが、平成15年から埋め立てが開始され、現在の埋め立て量は約5万立方メートルに近づいている。

処分場の延命化を図るため、今以上にゴミ減量化への意識づくりが急務である。

⑤環境センター塩川工場（し尿浄化槽汚泥処理施設）

昭和42年12月の完成から52年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、修繕を繰り返しながら維持管理をしている。

今後は、効率の良いシステム等に対応した施設の更新計画を立てる必要がある。

経済常任委員会は、所管する事務・事業のうち、「町民と議会との懇談会（議会報告会）」で西原地区から出された要望の状況調査と、本年5月に発生した小杉山地内の土砂崩落の状況、尾登地区から陳情のあった大田ため池の状況について、実情を把握するとともに課題と対応策等を検討するため、次のとおり視察・調査を行った。

松尾萱本停車場線 町営西原住宅 出入口付近の現状

議会報告会で要望があった西原住宅の出入口付近は見通しが悪く、出会い頭が非常に危険であるため、視察・調査を行った。

注意喚起の安全対策が必要

西原住宅の出入口付近



は、カーブミラーはあるが見通しが悪い。

西会津小・中学校の児童や生徒の通学路でもあり、西原住宅の出入口付近は、自転車走行時に危険性があるため、徐行などの注意喚起の看板等を設置し、学校に対して児童生徒に交通安全の指導・徹底を行うように議会として要望していくことが必要である。

小杉山地内の 土砂崩落の現状

本年5月に発生した、小杉山地内の土砂崩落現場の状況を確認し、対応策を検討するため現地調査を行った。

崩落現場の状況

水田と休耕田、幅約12・5メートル、高さ約7・5メートル崩落し、土砂が沢の下流域約200メートルまで流出した。

土砂崩落への対応

町や県などの関係機関が現地を確認し、地区住民に当面の措置について説明を行うとともに、土砂崩落の進行を防止するため、溝切りを行い、土砂到達地点の埋没した橋の土砂の撤去、大型土のうを設置し、町と自治区で随時状況把握のため、監視を行っているが、大きな変化等はない。



崩落が拡大しないよう 最善の対応を望む

今起こった土砂崩落等は、町内の他地区においても起こり得ると想定しておく必要がある。小杉山地内の土砂崩落については、保安林の指定や砂防ダムを設置などを含め、関係機関と協議しながら最善の対策を望む。

大田ため池の改修 要望（尾登自治区）

経済常任委員会に付託された大田ため池の堤体法面の改修要望について、現地を調査し、要望事項に対する対応策について検討する。

大田ため池の現状

大田ため池は、尾登地区を受益地とし明治初期に築造された。平成22年に斜樋・給水栓の改修を行った際、アメリカザリガニの生息が確認されており、老朽化と併せてザリガニの巣穴による、堤体法面の浸食が懸念されている。

自治区の取り組み

尾登自治区では、平成23年度からザリガニ対策に取り組んでおり、罠による捕獲とともに、ナマズやコイを放流する対策を講じている。併せて、



ザリガニ対策の先進地研修を予定している。

安全・安心のため修繕を望む

大田ため池は、農業用水だけでなく簡易水道の水源や消防水利として、集落住民の生活に欠かすことができない重要なため池である。地域住民の安全・安心のため、早急に該当する捕獲事業や受益者負担の軽減を検討し、大田ため池の修繕を望む。

この人に インタビュー

このコーナーでは、町内各方面で活躍されている方々を紹介します。

今回は会津工業高等学校・ボクシング部で活躍されている齋藤峻さんです。



プロフィール

住所：3町内（野沢）
年：3年
好きな言葉：かっこいい
趣味：音楽鑑賞

―ボクシングを始めたきっかけは。

中学生のころ、高校進学で悩んでいたときに、

会津工業高校のパンフレットでボクシング部のことを知りました。「なかなかできない体験じゃないか。」と思い、新しいことを始めてみよう

とボクシングを始めました。

―第30回全国高校総体に出場されてどうでしたか。

結果は一回戦敗退で、内容としては、あまり良い試合ができませんでした

た。『全国大会』という

舞台にのまれてしまい、

気持ちの面ですでに負けていました。

それも含めて実力がまだまだ足りず『全国大会』のレベルの高さを知りました。

―将来の夢は。

警察官になることが将来の夢で、人のためになる仕事がしたいと思っています。

また、福島県内でボクシング部がある高校は3校しかなく、他の県に比べて少ないことが、とて

も残念です。

―後輩たちにメッセージはありますか。

西会津の小中学生でボクシングに興味のある子は、ぜひ一度「会津工業高校」に来て部活動の様子を見てほしいです。

―町民に伝えたいことなどがありますか。

「もっと多くの人がボクシングに関わるチャンスが増えるといいな!」と思っています。

議会の動き

9月4日、新潟県立大学の田口一博准教授を講師に迎え、「西会津町の将来政策を考える」をテーマに、政策提言調査特別委員会研修会を開催しました。

今回は、これまでの研

修を踏まえ、政策提言実施のための調査研究、議論の進め方、実行・実現方法等について講演をいただいた後、今後の進め方について活発な議論が交わされました。

そして、西会津町の諸問題の中から「農家所得の向上」「ふるさと納税の推進」を政策提言課題として取り上げることになりました。

いずれの課題も、一朝一夕に答えが出るものではなく、多岐にわたって調査研究を深める必要が

あります。

そのためには、多方面の方々の意見や提案を聞くことが重要となり、今後町内各地で一般会議や公聴会等を開催して、広く町民や専門的知識を有する方々との意見交換を図りながら、議会としての議論集約を進めることにしました。

田口准教授は、地域経済や地方自治に精通していることから、今後もアドバイスをいただきながら政策提言の具現化に取り組んでいきます。



編集後記

8月の臨時議会から新しい役場の議場で議会が始まりました。前の議場は今より広かったのですが、今度は町当局の方々の顔も近く、ちよつと戸惑い気味です・・・。

一般質問の残り時間表示もデジタル表示になり、各議員の席も一人ずつになり、新しい環境になかなか慣れないものですが、対応する努力をしつつも、気持ちだけは初心を忘れずにこれからもがんばっていききたいと思います。

秦 貞継

編集委員

委員長 三留 満
副委員長 秦 貞継
委員 三留 正義
委員 薄 幸一
委員 青木 照夫

にしあいづ議会だより

No. 143

発行 福島県西会津町議会
編集 議会広報特別委員会

〒969-4495 福島県耶麻郡西会津町野沢
字下小屋上乙3308
e-mail gikai@town.nishiaizu.fukushima.jp
☎0241(45)4537